

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月15日更新

事務事業名		人権教育推進協議会運営支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局	課長名	荒牧 聡
	施策	12	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名	田村 沙也香
	施策の柱	44	人権教育啓発活動実践の推進			所属班	啓発教育班	(内線)	5333
予算科目	会計一般	款10	項5	目4	事業連番10880	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	人権教育推進協議会への補助金の交付。 合志市発足後、人権教育推進協議会を設立し、平成18年度より補助金の支出を行っている。旧町とも協議会発足当初は、同和問題の解決を目的に活動を行ってきたが、現在では同和問題をはじめ、あらゆる差別の解消を目的に活動をおこなっている。
【業務の流れ】	人権教育推進協議会からの補助金交付申請書を受理。交付申請書審査後、交付決定通知書を発行して請求を受け、補助金を交付する。
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	特になし。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	市人権教育推進協議会の補助金交付申請を受け付け、補助金の交付を行った。4つの部会への活動支援を行い、各部会の活動で人権教育に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった人権教育研究大会の代替事業を行った。	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 本年度と同じく、合志市人権教育推進協議会へ補助金の交付事務を行なう。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人権教育推進協議会の参加団体数	予算の主な増減の理由 補助額の適正化による減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	合志市人権教育推進協議会	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	活動に必要な補助金を支出する。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 補助金の執行率 %
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠 補助金の執行率が事業の成果を図る重要な目安である。目標値は、事業補助金を有効活用できているとする事ができる数値を設定。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度 実績(決算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	4年度 予定	5年度 見込	6年度 見込	
① 活動指標	ア 団体		155	155	155	155	155	155	155	155	
	イ										
	ア 対象指標										
② 対象指標	ア										
	イ										
	ア 成果指標	%	85	91	95	48.32	95	95	95	95	
③ 成果指標	ア										
	イ										
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	2,275	2,409	2,638	1,261	2,508	2,508	2,508	2,508
		(A) 事業費計	千円	2,275	2,409	2,638	1,261	2,508	2,508	2,508	2,508
		(A)のうち指定経費	千円	38	38	38	5	38	38	38	38
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4	4
延べ業務時間	時間	610	422	400	632	400	400	400	400		
(B) 人件費計	千円	2,404	1,672	1,593	2,491	1,593	1,593	1,593	1,593		
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,679	4,081	4,231	3,752	4,101	4,101	4,101	4,101		

事務事業名	人権教育推進協議会運営支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	-----------------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 新型コロナウイルス感染防止対策により、一部の事業が中止、見合わせとなったこと。
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 各部会の活動を、連携を深め、より活発にし、また、各団体等の研修会等を支援する。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 本事業の事務は、補助金の支出事務が主であり、特に向上はできない。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業は、他にない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業を実施していくうえでの最小限の事業費であり、削減余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の職員で対応しており、これ以上の削減は見込めない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 人権教育推進協議会は市内各種委員・団体、学校、企業等、市内全域の組織であるため、費用負担は公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 人権教育啓発を主とする団体であり、市が事務局を持ち運営していくことは適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

本年度も、合志市人権教育推進協議会に補助金を交付し、当協議会の研究大会等の人権教育活動を支援している。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						